

# 鮭川出張所河川愛護モニター通信Vol.62

真室川小学校環境委員会の児童のみなさんからいただいた質問・報告と、鮭川出張所からの回答をご紹介します。

## ほうこく 報告

水の量は減った気がします。水がすきとおっている気がします。

## かいとう 回答

寒くなってくると水温も低くなり、日照り時間も短くなります。すると、川にいるプランクトン(※水中に浮かんでいる小さな生き物)が減少し川の水が透明になります。また、夏場よりも農業用排水がなくなり、土砂などが川に流れ込まないため川の水がきれいに感じたのかもしれませんがね。

## しつもん 質問

12月を迎え、川にはどんな魚がいて、その魚たちはどうしているのか?と思いました。

## かいとう 回答

冬になり、魚の種類によって冬の過ごし方が大きく違うようです。コイやフナはエサをほとんど食べずに水の深場で冬眠状態となります。そして、冷たい水を好むヤマメやイワナは川を下り、流れのゆるやかな水底で冬を越します。また、アユやサケは川から海へと渡り、海で冬を過ごしています。

## つめす 冷たい水が好きな魚

### イワナ (岩魚)



(サケ科) 全長約25~60cmで灰色のような色で背中から全体に白いはん点(白点)が散らばっている。冷たい水をお好む魚。

### カジカ (鯀)



(カジカ科) 全長約15~20cmでこげ茶色で体は細いが頭が大きく、口が大きいのが特徴。背びれが三角形になっている。

### ヤマメ (山女魚)



(サケ科) 全長約20~40cmで高級魚として名高い魚。だえん形のまだらもようがあるのが特徴。ヤマメは、大きく成長し、降海するものをサクラマスという。

報告ありがとうございます。冬期間は足元がすべりやすくなっているので気をつけて観察しましょう。